

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報<sup>※</sup>の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; 脱分化脂肪細胞(DFAT)を用いた細胞治療の確立</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部機能形態学系細胞再生・移植医学分野 (研究責任者)松本太郎</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日 ~ 西暦 2019年 1月 31日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; 私たちの研究グループでは体の中に多量に存在する脂肪組織から、脂肪細胞を取り出し、これを体外で培養することにより未熟な細胞へと形質を変える方法を独自に考案しました。こうして得られた未熟な細胞は、自由に増やすこともできますし、骨、軟骨、血管などの細胞にすることも可能です。私たちはこの未熟な細胞を脱分化脂肪細胞(DFAT ディーファット)と名付け、再生医療や細胞治療に応用するための研究や、さらにDFATに手を加えることで、現在注目されている iPS 細胞にも応用することが十分可能であると考え研究を行っています。患者さんの年齢を問わず約 1g の脂肪組織から作成することができるため、今までは無理だと考えられてきた高齢者や、全身状態が悪い患者さんに対する治療が可能になると考えています。これらの技術の有効性や安全性を確立し、実際に再生医療へ応用するために、ヒトの脂肪組織を用いた多くの研究が必要となります。そこで外科手術などの際に、摘出され廃棄される患者さんの脂肪組織を私たちの研究用に提供していただけたらと考えております。</p>
<p>&lt;対象となる患者さん&gt; 西暦 2015年 2月 1日～西暦 2019年 1月31日の期間に整形外科、形成外科、または小児外科にて手術を受けられる方(病名は問いません)。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; 本研究には手術等をお受けになった時に摘出され、廃棄される予定の脂肪組織の一部を使わせていただきます、必要な脂肪組織は十数グラム(親指大くらい)です。また、人工関節置換術のような骨を摘出する手術では、摘出され廃棄される予定の骨の一部(骨髄)を使わせていただく場合もあります。組織採取のために創部を広げたり、術式を変えたりするということはありません。あくまでも廃棄予定の組織を利用するだけです。提供していただいた試料は、新しい細胞治療の開発研究に使わせていただきます。</p>
<p>&lt;お問い合わせ窓口&gt; 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 機能形態学系細胞再生・移植医学分野 氏名:松本 太郎 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2703 (PHS)3972</p>